

ガイドボランティア活動記録

(平成16年度)

山本昌生

当園では平成13年3月24日から大温室などの温室植物を中心としたガイドボランティアを導入した。現在4期生まで72名(平成16年12月現在)が活動中である。今回は前号(第25号)に続いて、その後の活動や進展について報告する。

導入の経緯については平成13年度栽培記録(第23号)に記している。今年度から温室のガイドに追加して、屋外のガイドを担当するボランティアを導入し4月10日から活動している。平成15年秋に募集し、応募者46名を対象に5回の養成講座を開き、34名を4期生として登録した。平成16年12月現在のガイドボランティアは72名で1期生が24名、2期生10名、3期生6名、4期生31名となっているが、家庭の都合や体調不良などにより活動休止中が若干名いる。

ガイド活動は定期ガイドとしてペゴニア温室、大温室、熱帯スイレン温室、フクシア温室、サボテン温室を毎週土曜日と日曜日に実施している。屋外ガイドは花の進化園とロックガーデンを定期

ガイドする他、季節に応じてサクラやバラ、ハナショウブ、アジサイなどを案内した。このほかに不定期ガイドとしてイベント時の案内や学校の自然体験学習や公民館、老人会などからガイドの依頼に対し、対応している(表1)。また、昨年に続いて夜の植物を案内する植物ナイトウォッチング(夜間開園)を開催した。5月、9月、12月に開催し、特に9月にはサガリバナやオオオニバス、ゲッカビジン、ヤコウボクなどの夜開花(香る)する植物やゴレンシ、アメリカネムなど夜に就眠運動する植物などをガイドし、アンケート結果からも非常に好評だったことが伺えた。

昨年度から実施している樹木ウォッチングは2年目となり、昨年度の月1回から毎月第2火曜日と第4土曜日の月2回として実施した。サクラやカエデなど園内の樹木を中心に解説した(表2)。

例会と研修について

主に2ヶ月に1回の例会時に講堂で研修を行っている。また、ボランティア同士の親睦を兼ねて、野外で広島県廿日市市の極楽寺山と山口県光市の峨嵋山の植物観察を行い、さらに福岡市植物園に行き、ガイドボランティア同士の交流を持つとともに、園内の見学を行った(表3、写真1、2、3)。特に当園しか知らないボランティアにとっては興味深かったようで、他園のボランティアの方と意見交換して刺激となったようだ。また、情報提供

表1. 定期ガイド・不定期ガイド実績表

| 月 | 定期ガイド** | | | | | | | | 不定期ガイド*** | | 合計 | |
|-----------|---------|--------|-------|--------|-------|---------|-----|----------|-----------|----|-------|--------|
| | 日数(日) | ペゴニア温室 | 大温室 | フクシア温室 | 花の進化園 | ロックガーデン | その他 | 樹木ウォッチング | 計 | 件数 | | 人数 |
| 4~12月の小計* | 76 | 3,487 | 4,265 | 3,427 | | | | 559 | 11,738 | 37 | 3,556 | 15,294 |
| 1月 | 7 | 233 | 304 | 220 | | | | | 757 | 0 | 0 | 757 |
| 2月 | 9 | 420 | 741 | 448 | | | | | 1,609 | 4 | 212 | 1,821 |
| 3月 | 8 | 458 | 502 | 523 | | | | | 1,483 | 1 | 20 | 1,503 |
| 平成15年度合計 | 100 | 4,598 | 5,812 | 4,618 | | | | 559 | 15,587 | 42 | 3,788 | 19,375 |
| 4月 | 8 | 372 | 582 | 472 | 133 | 133 | 24 | 117 | 1,833 | 15 | 1701 | 3,534 |
| 5月 | 10 | 451 | 622 | 487 | 283 | 222 | 319 | 70 | 2,454 | 11 | 1624 | 4,078 |
| 6月 | 8 | 261 | 290 | 248 | 166 | 140 | 157 | 76 | 1,338 | 4 | 291 | 1,629 |
| 7月 | 9 | 169 | 253 | 166 | 74 | 49 | 0 | 62 | 773 | 4 | 100 | 873 |
| 8月 | 9 | 234 | 464 | 228 | 78 | 55 | 0 | 63 | 1,122 | 0 | 0 | 1,122 |
| 9月 | 7 | 272 | 306 | 134 | 97 | 43 | 0 | 73 | 925 | 2 | 508 | 1,433 |
| 10月 | 10 | 325 | 618 | 411 | 298 | 183 | 275 | 46 | 2,156 | 6 | 154 | 2,310 |
| 11月 | 8 | 269 | 482 | 363 | 220 | 117 | 0 | 72 | 1,523 | 5 | 735 | 2,258 |
| 12月 | 8 | 153 | 237 | 239 | 85 | 38 | 0 | 42 | 794 | 4 | 491 | 1,285 |
| 平成16年度小計 | 77 | 2,506 | 3,854 | 2,748 | 1,434 | 980 | 775 | 621 | 12,918 | 51 | 5,604 | 18,522 |

*平成15年度の4~12月は前号(栽培記録第25号)に記したので一括した。
 ** 定期ガイドは土・日の昼間に実施したものとした。屋外ガイドの日数は、4月の第2週から開始したため4月のみ2日間少ない。
 *** 不定期ガイドは春まつりと秋のグリーンフェアの土日以外と団体からの予約分とし、16年度5・9・12月実施の夜間開園時の案内人数は人数が多すぎてカウントできなかったため、それぞれ夜間開園入園者数の10%とした。
 大温室は熱帯スイレン温室を、フクシア温室はサボテン温室を含む。
 樹木ウォッチングには園外実施分も含めた(表2参照)。

表2. 樹木ウォッチング実績表

| 月日 | 観察テーマ・場所 | 参加者 |
|--------|---------------------------|-----|
| 4月13日 | サクラの観賞(ソメイヨシノとミズバショウ) | 42 |
| 4月21日 | 広島城(園外) | 31 |
| 4月24日 | ヤエザクラ | 44 |
| 5月11日 | 日本庭園コース(ヤマアジサイ、サンヨウアオイなど) | 27 |
| 5月19日 | 宮島・広大コース(園外) | 28 |
| 5月22日 | バラ園 | 15 |
| 6月8日 | ハナショウブ園 | 24 |
| 6月16日 | 広島大・医学部(園外) | 27 |
| 6月26日 | アジサイ園 | 25 |
| 7月13日 | ヤマザクラコース(1) | 28 |
| 7月21日 | 平和公園周辺(園外) | 25 |
| 7月24日 | 夏の野草コース | 9 |
| 8月10日 | 芝生広場コース(ハンカチノキなど) | 25 |
| 開催日 | 観察場所 | 参加者 |
| 8月18日 | 中央公園周辺(園外) | 20 |
| 8月28日 | 針葉樹コース(マツやスギの仲間) | 18 |
| 9月14日 | ハギ園コース | 18 |
| 9月15日 | 宮島・包ヶ浦コース(園外) | 25 |
| 9月25日 | 展望台コース(チャンセン、モクゲンジなど) | 30 |
| 10月12日 | どんぐりと里山コース(ブナ科の植物) | 23 |
| 10月20日 | 太田川・塩生植物(園外) | 中止 |
| 10月23日 | 秋の野草コース | 23 |
| 11月9日 | ヤマザクラコース(ヤマザクラやガマズミなど) | 20 |
| 11月17日 | 元宇品公園(園外) | 24 |
| 11月27日 | カエデ園コース | 28 |
| 12月14日 | サザンカ | 20 |
| 12月25日 | 針葉樹コース(コニファーの仲間) | 22 |

平成16年度4月～12月の参加者数621人(内訳:園内実施441人、園外実施180人)
(園外)は植物公園外で実施した樹木ウォッチング

表3. ガイドボランティア研修一覧表

| 開催日 | 場所 | 研修内容 | 参加者数 |
|----------------|---------|---|------|
| 平成15年4月～12月小計 | | (内容は広島市植物公園栽培記録第25号に掲載) | 185 |
| 平成16年2月29日 | 植物公園講堂 | 世界らん展日本大賞2004見学報告(植物公園 山本昌生) | 20 |
| 3月26日 | 広島県宮島 | 広島大学・宮島植物実験所探訪会(ガイドボランティア 中道勉) | 30 |
| 平成15年度合計 | | | 235 |
| 4月28日 | 植物公園講堂 | 屋久島植物探訪記(ガイドボランティア 吉本修二) | 51 |
| 5月14日 | 広島県極楽寺山 | 植物観察(モミ、ツガ林、帰化植物、湿地の植物)(東和科学株式会社 吉野由起夫) | 30 |
| 6月20日 | 植物公園講堂 | 万葉の植物について(広島工業大学環境情報学科 中野武登教授) | 37 |
| 7月19日 | 福岡市植物園 | 福岡市植物園の見学と福岡市植物園ガイドボランティアとの交流会 | 29 |
| 8月29日 | 植物公園講堂 | アサガオについて(ガイドボランティア 瀬川綾子) | 38 |
| 10月13日 | 山口県峨嵋山 | 植物観察(クスノキやシイなど常緑樹を中心にした手つかずの森) | 29 |
| 10月24日 | 植物公園講堂 | 浜松の花博と浜松フラワーパーク視察報告(植物公園 山本昌生) | 37 |
| 12月18日 | 植物公園講堂 | ランの開花生理(特に花芽分化に注目して)(植物公園 浜谷修一) | 38 |
| 平成16年度4月～12月小計 | | | 289 |

として例会ごとに主にリーダーズ(1年の任期で、事務局と共にボランティア活動の企画・運営などを行う役員)の執筆によるガイドボランティア通信を発行した(表4)。

自主活動について

春の植物公園まつりと秋のグリーンフェアにガイドボランティアコーナーを作り、入園者に活動をアピールした。また期間中は毎日温室のガイドを行った。屋外の樹木ウォッチングを行った。テントでは、竹馬体験、どんぐりの試食、どんぐりクラフト作り、手作り苔玉販売などを行い好評だった(写真4)。

表4. ガイドボランティア通信タイトル一覧表

| 号 | タイトル | 執筆者 | 発行 |
|----|--|----------------------|--------|
| 14 | サギソウ奮闘記 | 材原由美 | 2月29日 |
| 15 | 屋久島の植物を訪ねて | 村本正治 | 4月28日 |
| 16 | 苔玉との出会い ボランティア研修会(極楽寺山)に参加して | 高田和子 北野孝幸 | 6月20日 |
| 17 | 日本一の水芭蕉が群生する鬼無里と戸隠・白馬観光記 福岡市植物園とボランティア交流会(屋外編) 福岡市植物園を訪ねて(温室編) | 今村裕子 坂本俊弘 新藤俊明 | 8月29日 |
| 18 | ふるさと「カキツバタの里」に思いを馳せて 木の名前の由来「コシアブラ」 峨嵋山研修・・・あるものとなないものと・・・ | 瓜フキエ 坂本俊弘 橋本順子 | 10月24日 |
| 19 | 木の名前の由来「ナツツバキと仏教三霊樹」 植物公園ガイドボランティア研修の旅 峨嵋山の植物 カボチャあれこれ | 坂本俊弘 原田澄子 橋谷桂子 | 12月18日 |

昨年からは開始したサギソウの無菌播種及び苗の育成は、月に2～4回、無菌播種及び継代培養を行った。苗の一部は球根を形成したので、水苔で鉢に植え付けた。8月に一部が開花したため、マスコミへの情報提供を行ったところ、ボランティアによる活動として新聞等で取り上げられた(写真5)。

樹木ウォッチングは園内の植物だけではなく、園外でも勉強会を兼ねた自主活動として実施した。植物ファンに人気がありリピーターが多い。また、植物公園内では見ることができない植物群落や貴重な植物を観察した(表2)。

今後の計画及び課題

- ・ボランティアは4期生の導入により平成16年度12月には、合計約70名となっている。活動や取り組みへの個人差があることから、意見交換やアンケートを行い課題や要望を明らかにしていく。
- ・研修や懇親の機会を充実し、活動への意欲やボランティアとしてのマナーを向上させることが必要と思われる。



写真1. 極楽寺山の植物観察



写真2. 山口県峨嵋山の植物観察
(参加者記念撮影)



写真3. 福岡市植物園でのボランティア交流会

04. 8. 13 中
繊細サギソウ やつと咲く
 ボランティア丹精究広島市植物公園

広島市植物公園(佐伯)内するボランティアが育
 区で十二日、園内を案内したサギソウが開花し
 た。珍しい種からの栽培(幅0.2m)と狭小で発芽
 に苦労が花開いた。ボランティア六人は、二〇
 一一年十月に生息するラ、一年十月に栽培を開
 始。養分を含む寒天の、塩菜水で殺菌した種を
 種は長さ約〇.五、塩菜水で殺菌した種を
 ボランティアが育て開花に近づけたサギソウ

無菌ボックスの中で取
 り組んだが、培地に大量
 のカビが発生することも
 しばしば。発芽に三回失
 敗した人もいた。ミスブ
 ケに移植し、屋外に置い
 て外気に慣らす時、気温
 や湿度の変化に耐えられ
 ず枯れる苗も出たとい
 う。しかし、苗を約七十
 株にまで増やさんと成
 功。うち約五十株がつぼ
 みを付け、羽を広げたサ
 キソウを思わせる白い花も開
 き始めた。
 主婦北本照子さん全
 面取材

佐伯区薬師が丘一丁目
 は「サギソウが育みを
 増し、大きな度にな
 が開いた。苦労しただけ
 喜びも大きい」とうれ
 しかった。

写真5. サギソウの開花
(平成16年8月13日 中国新聞記事)



写真4. 秋のグリーンフェアのボランティアコーナー